

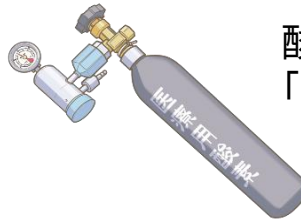
16期10号 医療安全ニュース

今回のテーマ: その酸素ボンベ、目的地まで足りませんか?
～残量確認の徹底～

実際にあった酸素切れの事例



検査終了後
病室に戻った



酸素ボンベの残量が
「0」になっていた



なぜ起こったのでしょうか?

- ①検査のため病室から出る前に酸素ボンベの残量を確認していなかった
- ②「おおよその使用可能時間」表を確認していなかった
- ③酸素ボンベの使用可能な時間の計算をしていなかった
- ④検査に要する時間を想定していなかった

事故を未然に防ぐには?

①酸素ボンベの残量を確認しましょう



②「おおよその使用可能時間」表を確認しましょう



処方流量	残量表示計		
	14.7MPa	10MPa	5MPa
1L/分	約7時間35分	約5時間5分	約2時間30分
3L/分	約2時間30分	約1時間40分	約50分
5L/分	約1時間30分	約1時間0分	約30分
8L/分	約1時間0分	約40分	約20分
10L/分	約45分	約30分	約15分
15L/分	約30分	約20分	約10分

③針が赤ゾーンを指した場合は使用を
控えましょう

問題です

移動用の酸素ボンベを使用して、患者さんを検査室へ搬送しようとしています
条件は以下の通りです

- ・現在の残量表示計: 10MPa
- ・指示された流量: 3L/分

このボンベは「約何分」使用できるでしょうか?

ヒント: 上記の表を参考にしましょう

今月の一言

「足るだろう」 慢心捨てて 表を見る

この川柳はAIによって作成されたものです